

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

## I 自己評価

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号

55

1 学校教育目標	(1) 明朗で健康な心身を育成する（健康にして明朗、友愛に満ちた教養ある社会人となるべき資質を養う。） (2) 自主創造性の伸長を図る（自ら考え判断し、表現する力を身につけ、創造性の基礎を培う） (3) 誠実で勤労を愛する態度を養う（専門的な知識・技能に習熟し、勤労を尊び、誠実にことにあたる人材を育成する） (4) 自然を愛する豊かな心を育てる（自然を愛し、生命を尊重するとともに、相手を思いやる心や社会性を養う）		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP） ・工業ならではの知識・技術・スキルの向上をめざし、主体的に他者と協働して課題解決に取り組む生徒 ・多様な人々の互いの人格を尊重し、人と人とのつながりを大切に、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・グローバルな視点から問題の核心を把握し、その解決を目指し地域や社会に貢献できる生徒	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP） ・課題発見力・課題解決力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」や「実習」、「課題研究」の推進 ・「課題研究」や教科学習、ICTの活用による、コミュニケーション能力とプレゼンテーション力の育成 ・生徒一人ひとりの個性を尊重し長所を十分に伸ばし、深い学びを実現するためのカリキュラムの編成と個々に応じた細かな指導の実施	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP） ・ものづくりや工業分野に興味があり、向上心を持ち、多様性を尊重し、他者と協働しながら主体的に学びたい生徒 ・自分の将来に目標を持ち、多様な学びに主体的に取り組み、自らの可能性に挑戦したいという意欲のある生徒 ・地域活動などの校外の自主的な活動や、学校行事や部活動などの校内の活動に積極的に参加し、思いやりを持って関わろうとする意欲のある生徒
3 現状の分析	○卒業生が社会や企業で信頼され活躍してくれているため、毎年多くの求人を受けている ▲本校には、卒業後の進路や資格・技術の習得など自負できることが多くあるが、生徒の募集に繋がらない		
4 学校の抱える課題	・生徒の多様性により、個々に対応をしなければならない課題が多くなっている ・本校を志望する生徒が定員を満たない		
5 今年度の具体的な重点目標	◇「わかる授業」、「達成感を味わう授業」など魅力ある授業展開と適切な評価 ◇生徒一人一人を理解した生徒支援 ◇キャリア教育の観点からの進路支援キャリア教育		

年 度 目 標			年 度 末 (途中) 評 価			
6 評価項目 領域・分野	7 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	8 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	9 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	10 評価 A・B・C・D	11 成果と課題	12 総合 評価
教務	①学期毎の評価をチェック・検証する。	①評価の整合性とその説明ができるか。	①観点別評価について手探りな部分ではあったが、統一的な指針を提示することができた。	A	○授業や部活動を通して社会人として必要な力を身に付けている。 ▲基礎学力の定着が不十分な生徒の指導体制と基礎学力の定着。	A B
	②授業研究・公開授業週間③	②生徒授業評価	②ICTはどの教科でも積極的に活用できた。	B		
生徒支援	①人権教育	①いじめアンケート結果分析	①生徒が安全・安心して充実した学校生活を送ることができているか。	B	○積極的にいじめを認知し、組織で対応できた。 ▲頭髪や服装に関して、規範意識が低い生徒が散見された。	C D
	②教育相談週間を含む相談活動	②面談で得た情報の共有ができたか。	②教育相談週間及び担任面談の実施	A		
進路支援	①保護者と連携した進路支援	①アンケートによる満足度評価	①ICT等を活用した保護者や企業に向けた情報発信	B	○各行事ともに実施でき、進路選択において重要な役割を果たした。 ▲試験において不合格者が出たが、少数に留まった。	
	②進路ガイダンス等の効果的な活用	②進路実現の結果	②各種ガイダンス、面接練習等の実施	B		

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和5年3月6日

13 来年度に向けての改善方策案

・社会、企業に信頼され活躍できる生徒を育て送り出す教育が、ぶれずに綿々と実現できていると思います。  
・YouTubeを視聴しました。大学進学を当たり前と思っている大人たちに地元企業、地元社会を支える工業高校の意義をアピールする工夫をお願いします。  
・コロナ、ネット社会、生徒の多様性など、問題の在り方や状況も変化しており、今までとは違う対応の仕方が求められとても大変だと思っておりますが、良く対応できていると思っております。

・欠点保有者の早期解消指導。  
・生徒が主体的に意味を考えて、状況に合わせて行動できるような意識の醸成。  
・地元企業就職や定住者の増加を図るため、行政とのタイアップを継続。  
・学校から企業に向けての情報を発信と、企業や学校の情報を生徒保護者に提供の強化